

お月見の夜

～宇宙に電子音楽を四則演算する～

近くて遠い月、大きくて小さい月

すぐに手が届きそうでも届かない。大きく見えるけれども実は小さい
実際に存在する「月」と、感じる「月」には不思議な違いがあります
もっとも身近なはずなのに、実はよくわかっていない「月」を題材に
プラネタリウムの満天の星の下、科学解説と素敵な音楽でつづります

日時：2001年9月29日（土）18時30分開演
場所：名古屋市科学館プラネタリウム
名古屋市中区栄二丁目17-1
地下鉄東山線伏見駅下車徒歩5分

音楽：日本電子音楽協会
Computer Music Laboratory S E A
由雄正恒,寺井尚行,桃井聖司,吉原太郎,大河内俊則
助成：（財）ローランド芸術文化振興財団

解説：名古屋市科学館 毛利勝廣
演出：名古屋市科学館プラネタリウム

入場券：500円

先着順200名に限り、先行予約をSEA事務局でお受けいたします。
住所・氏名・連絡先を明記の上、下記のSEA事務局までお申し込み下さい。

なお、科学館では当日券発売のため混乱が予想されます。
先行予約の方は科学館エントランスホールの"SEA事務局デスク"に
直接お越しください。当日18時からチケットをお渡しします。

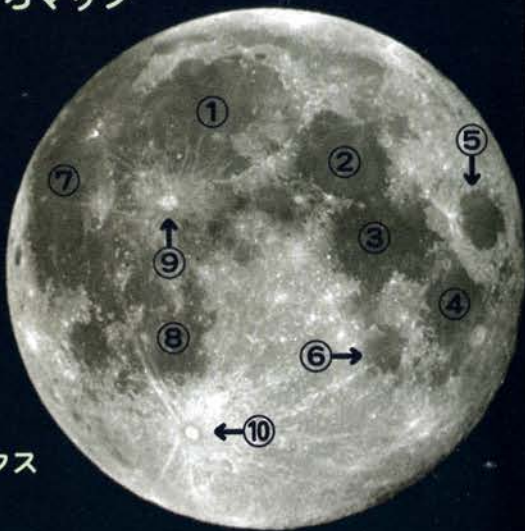
お問い合わせ、先行予約申し込み先

SEA事務局 FAX: 052-736-2771 e-mail: zz3a-mti@asahi-net.or.jp



満月のみどころマップ

- ① 雨の海
- ② 晴れの海
- ③ 静かの海
- ④ 豊の海
- ⑤ 危機の海
- ⑥ 神酒の海
- ⑦ 嵐の大洋
- ⑧ 雲の海
- ⑨ コペルニクス
- ⑩ ティコ



これからのプラネタリウムの予定

一般投影 (月替わりのテーマで様々な星の話題を)

- 10月 夕焼けの不思議
- 11月 流星の雨が降る?
- 12月 未来の北極星ベガ
- 1月 星が生まれる
- 2月 星が生まれる
2/12(火)~3/4(月)は休演
- 3月 ハッブルの見た宇宙



特別投影 (七夕, お月見, クリスマス)

「クリスマスの夜」12月23日, 24日 18時30分から
(当日券, 17時から発売です)

名古屋市科学館プラネタリウム

Phone 052-201-4486 Webpage <http://www.ncsm.city.nagoya.jp>

YAMAHA

NCM
新たな価値に挑戦します。

FUN TO PLAY ELECTONE

音楽ともだちになろう



シンプルだけど基本はしっかり、
の入門モデル **EL-200** New
メーカー希望小売価格 ¥380,000
(イス付・税抜き価格) **XS**



音色も機能も上級機なみの
スタンダードモデル **EL-400** New
メーカー希望小売価格 ¥460,000
(イス付・税抜き価格) **XS**

株式会社ヤマハミュージック名古屋

〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052-201-4353 FAX 052-201-5400

お月見の夜

～宇宙に電子音楽を四則演算する～



日時: 2001年9月29日 (土) 18時30分
場所: 名古屋市科学館プラネタリウム
助成: (財)ローランド芸術文化振興財団



ごあいさつ

名古屋市科学館 天文主幹 北原政子

星や宇宙の不思議とコンピューターミュージックをプラネタリウムでフレンドして、新しい感動の世界を生み出そうという試みは、1986年10月 第1回「時空のかなたへ」からはじまり、第10回「暗黒星雲」で幕をとじました。1996年7月のことでした。この10年間に、科学館のプラネタリウムでは、ハード、ソフト両面にはかり知れない蓄積をもたらしました。

あれから5年、世紀もかわり2001年9月の今宵、科学と芸術の杜ここ白川公園のドームのなかで、ふたたび科学と芸術の融合が始まろうとしています。

Computer Music Laboratory SEA代表 寺井尚行

本日はお忙しい中を、本公演にお越し下さりまして有難うございます。以前1.1年間、10回にわたって毎年開催させていただきましたComputer music at the Planetariumが終了してから数年が経ちました。その際に、演奏して下さったプレイヤー、科学館、名古屋大学横井研究室、芸術協会、レーザーのカスト、音響のヤマハ、映像機器のエルモ社、エレクトリ・ソニー、プラザー販売、他、多くの皆様に、多大なるご協力をいただきましたことを、この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。

今回、再びプラネタリウムのドームで公演させていただける事は喜ばしい限りで、科学館、助成いただきました(財)ローランド芸術文化振興財団の皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、本公演は一見すると、ミニ Computer music at the Planetarium のようにも見えますが、実質的には日本電子音楽協会のメンバーによる作品が中心になっております。作品を提供して下さった方々は、様々な方面で活躍されている方ばかりで、プラネタリウムでの公演と言うことも良く理解して下さっています。

今宵、どこか哀愁を感じさせる「お月見」と言う言葉も、ドーム内では様々に変身するに違いありません。「月」と「電子音楽」の微妙で素敵な関係を充分にお楽しみ頂ければ幸いです。

プログラム

- 1 「月満ちし浜辺に」 作曲/由雄 正恒
- 2 「Moonlight Night」 作曲/寺井 尚行
- 3 「大きな月が昇る」~Rising The Big Moon 作曲/桃井 聖司
- 4 「思い出のアポロ」~The message from Universe 作曲/吉原 太郎
- 5 「でもお月様は遠いから……」 作曲/大河内 俊則

音楽：日本電子音楽協会・Computer Music Laboratory SEA
解説：名古屋市科学館 毛利勝廣
演出：名古屋市科学館プラネタリウム

プロフィール

由雄 正恒

1972年神戸生まれ。作曲家、メディアマスターNo.75。昭和音楽大学、岐阜県立 国際情報科学芸術アカデミー卒業。音譜 演奏 音響の関係の中にコンピュータを介在させ、音組織の選定からそれを一般的な楽器の演奏を通じて 音響処理を行い、またそれを楽譜にフィードバックさせるなどの作品を発表している。

昭和音楽大 学専任講師。日本電子音楽協会会員。

主要作品

「鹿の遠音 2~ピアノとコンピュータのための」「水面の月」など。また演奏活動や映像等の作家への純音楽の提供も行っている。

寺井 尚行

1951年岐阜県生まれ。作曲家、コンピュータ音楽を主体に、クロスメディア作品や、管楽器とコンピュータを融合させた作品が多いが、吹奏楽作品や筑波科学万博、山形国体、愛知国体等の開会式音楽も手掛ける等、多彩な創作活動をしている。

愛知県立芸術大学作曲科助教授・日本電子音楽協会理事・Computer Music Laboratory SEA代表、感性情緒型ロボット研究会会員・山口大学情報科学教育学科非常勤講師。

主要作品

ソプラノサクソフォーンとコンピュータの為の「Positive Sign」、吹奏楽の為の「Noisy Sky」、オーケストラの為の「MONOPOLE」、女声合唱のための「7つの歌」。

桃井 聖司

1967年愛知県生まれ。作曲家、マルチメディア・タイトルや映像作品のための音楽を制作。また、リトミックと電子音楽の融合を試みた作品の発表など、幅広い活動を行なっている。

ローランド・ミュージック・スクール講師。日本電子音楽協会会員。

主要電子音楽作品

女声、ピアノ、電子音のための「…楽園の愉悅」、「飛龍天翔」 尺八とコンピュータのための、「Motet XX」 for Female Voice & Computer。

吉原 太郎

1968年生まれ東京生まれ。作曲家、杏林大学社会科学部卒業。昭和音楽大学作曲学科卒業、同研究科修了。藤田現代音楽資料センターより奨学金を得、ミュージッククリエーション夏期アトリエ2001に参加。INA/GRMフランス国立視聴覚研究所にてダニエル・テルージ、フランソワドナトの各氏に師事。同スタジオでの作品「la ville imaginaire」はラジオフランス放送局で初演。

山梨大学大学院在籍中、日本電子音楽協会会員。全日本電子楽器教育研究会会員。日本音楽知覚認知学会会員。

主要作品

「COSMO」~エレクトーン、CG、ライブコンピューターによる、「MIND WAVE」~独奏アルトサクソフォーンのための、「DIMENSION STREAM」~ウィンドオーケストラのための。

大河内 俊則

1963年三重県生まれ。作曲家、愛知県立芸術大学作曲科卒業。日本電子音楽協会会員、Computer Music Laboratory SEA会員。

主要作品

「そこにはまだ何も無い」、ミュージカル「Runner」、ミュージカル「Oh My God」